

目次

立教大学大学院

＜人工知能科学研究科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人立教学院

(2) 大学名 立教大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒171-8501
東京都豊島区西池袋3丁目34-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シライシノリヨシ) 白石 典義 (平成30年8月1日)	(トイダカズヒコ) 戸井田 和彦 (令和2年9月25日)	前理事長退任のため (令和2年9月25日) (3)
学長	(カクヤンチュン) 郭 洋春 (平成30年4月1日)	(ニシハラレンタ) 西原 廉太 (令和3年4月1日)	前学長退任のため (令和3年4月1日) (3)
研究科委員長	(ウチヤマヤスノブ) 内山 泰伸 (令和2年4月1日)		
専攻主任	(オニシカキ) 大西 立顕 (令和2年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
人工知能科学研究科 人工知能科学専攻 修士（人工知能科学）	理学関係	2年	63人	— 年次人	126人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	63 (—) [—]	63 (—) [—]	63 (—) [—]	63 (—) [—]	1.05倍	一倍	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	167 (—) [—]	167 (—) [—]	113 (—) [—]	113 (—) [—]			
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	164 (—) [—]	164 (—) [—]	110 (—) [—]	110 (—) [—]			
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	85 (—) [—]	85 (—) [—]	64 (—) [—]	64 (—) [—]			
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	75 (—) [5]	75 (—) [—]	58 (—) [7]	58 (—) [—]			
入学定員超過率 B/A							1.19		0.92				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次							75 [5] (-)	- [-] (-)	58 [7] (-)	- [-] (-)	
2年次									74 [5] (-)	- [-] (-)	
3年次											
4年次											
計							75 [5] (-)		132 [12] (-)		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	75 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	1 人	- 人	除籍
令和3年度	132 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{75} = \boxed{1.33} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{132} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人工知能科学研究科 人工知能科学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	データサイエンス概論	1前		2		1						
	機械学習	1前	2			1						
	人工知能概論	1前		2		1						
	深層学習	1後	2			1						
	先端科学技術の倫理	1後	2			1						
	統計モデリングⅠ	1後		2		1						
	複雑ネットワーク科学	2前		2		1						
小計(7科目)	-	6	8	0	5	1	0	0	0	0		
基礎科目	情報科学概論	1前		2		1						
	数理科学概論	1後		2							1	
	社会情報科学概論	1後		2		1						
	意思決定の科学	1後		2		1						
	計算機科学概論	2前		2							1	
	人工知能の哲学	2前		2		1						
小計(6科目)	-	0	12	0	3	0	0	0	0	0	2	
応用科目	AIビジネス特論	1後		2		1						
	自然言語処理特論	1後		2		1						
	人工知能社会実装	2前		2		1					3	
	認識技術特論	2前		2		1						
	脳神経科学特論	2前		2							3	
	統計モデリングⅡ	2前		2		1						
	量子情報特論	2後		2							1	
小計(7科目)	-	0	14	0	4	0	0	0	0	0	7	
演習・実習科目	Pythonプログラミング	1前		2							1	
	機械学習演習Ⅰ	1前	2			2						
	機械学習演習Ⅱ	1後		2							1	
	深層学習演習Ⅰ	1後		2		1					1	
	深層学習演習Ⅱ	2後		2			1					
	社会モデリング演習	1前		2		1						
	輪講Ⅰ	1前		2		2	1					
	輪講Ⅱ	1後		2		3						
	データサイエンス実習	2前		2		1					2	
小計(9科目)	-	2	16	0	6	1	0	0	0	0	3	
研究指導科目	プロジェクトチーム実習Ⅰ	2前		2		3						
	プロジェクトチーム実習Ⅱ	2後		2		3						
	特別研究Ⅰ	1前		3		5	1					
	特別研究Ⅱ	1後		3		5	1					
	特別研究Ⅲ	2前		3		8	1					
	修士論文指導演習	2後		3		8	1					
小計(6科目)	-	0	16	0	8	1	0	0	0	0	0	
合計(35科目)	-	8	66	0	8	1	0	0	0	0	12	

卒業要件及び履修方法

必修科目8単位、選択科目22単位(選択必修科目「プロジェクトチーム実習Ⅰ」、「プロジェクトチーム実習Ⅱ」、「特別研究Ⅲ」及び「修士論文指導演習」を含む。)以上を修得し、合計30単位以上を修得するとともに、研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究成果に係る審査及び最終試験に合格すること。

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基幹科目	データサイエンス概論	1前		2		1					
	機械学習	1前	2				1				
	人工知能概論	1前		2		1					
	深層学習	1後	2				1				
	先端科学技術の倫理	1後	2			1					
	統計モデリングⅠ	1後		2		1					
	複雑ネットワーク科学	2前		2		1					
小計(7科目)	-	6	8	0	5	1	0	0	0	0	0
基礎科目	情報科学概論	1前		2		1					1
	数理科学概論	1後		2							1
	社会情報科学概論	1後		2		1					1
	意思決定の科学	1後		2		1					
	計算機科学概論	2前		2							1
	人工知能の哲学	2前		2		1					
小計(6科目)	-	0	12	0	3	0	0	0	0	0	4
応用科目	AIビジネス特論	1後		2		1					1
	自然言語処理特論	1後		2		1					
	人工知能社会実装	2前		2		1					3
	認識技術特論	2前		2							1
	脳神経科学特論	2前		2				1			6
	統計モデリングⅡ	2前		2		1					
	量子情報特論	2後		2				1			4
	フィンテック特論	2前		2							1
小計(8科目)	-	0	16	0	4	1	0	0	0	0	13
演習・実習科目	Pythonプログラミング	1前		2							1
	機械学習演習	1前	2			2					
	人工知能科学特別演習	2前		2							2
	深層学習演習1	1後		2		1					1
	深層学習演習2	2後		2			1				
	社会モデリング演習	1前		2		1					
	輪講1	1前		2		2	1				
	輪講2	1後		2		4					
	データサイエンス実習	2前		2		1					1
小計(9科目)	-	2	16	0	6	1	0	0	0	0	5
研究指導科目	プロジェクトチーム実習1	2前		3		2	1				1
	プロジェクトチーム実習2	2後		3		2	1				1
	特別研究1	1前		3		7	1				1
	特別研究2	1後		3		7	1				1
	特別研究3	2前		3		7	1				
	修士論文指導演習	2後		3		7	1				
小計(6科目)	-	0	18	0	7	1	0	0	0	0	2
合計(36科目)	-	8	70	0	7	1	0	0	0	0	21

卒業要件及び履修方法

必修科目8単位、選択科目22単位(選択必修科目「プロジェクトチーム実習1」、「プロジェクトチーム実習2」、「特別研究3」及び「修士論文指導演習」を含む。)以上を修得し、合計30単位以上を修得するとともに、研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究成果に係る審査及び最終試験に合格すること。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	データサイエンス概論	1前		2		1						
	機械学習	1前	2				1					
	人工知能概論	1前		2		1						
	深層学習	1後	2				1					
	先端科学技術の倫理	1後	2			1						
	統計モデリング1	1後		2		1						
	複雑ネットワーク科学	2前		2		1						
小計(7科目)	-	6	8	0	5	1	0	0	0	0		
基礎科目	情報科学概論	1前		2		1						1
	数理科学概論	1後		2								1
	社会情報科学概論	1後		2		1						1
	意思決定の科学	1後		2		1						
	計算機科学概論	2前		2								1
	人工知能の哲学	2前		2		1						
小計(6科目)	-	0	12	0	3	0	0	0	0	0	4	
応用科目	AIビジネス特論	1後		2		1						1
	自然言語処理特論	1後		2		1						
	人工知能社会実装	2前		2		1						
	認識技術特論	2前		2								1
	脳神経科学特論	2前		2			1					6
	統計モデリング2	2前		2		1						
	量子情報特論	2後		2		1						4
	フィンテック特論	2後		2								1
小計(8科目)	-	0	16	0	5	0	0	0	0	0	12	
演習・実習科目	Pythonプログラミング	1前		2								1
	機械学習演習	1前	2			2						1
	人工知能科学特別演習	1後		2								2
	深層学習演習1	1後		2		1						2
	深層学習演習2	2後		2			1					
	社会モデリング演習	1前		2		1						
	輪講1	1前		2		3	1					
	輪講2	1後		2		4						1
	データサイエンス実習	2前		2		1						1
小計(9科目)	-	2	16	0	7	1	0	0	0	0	8	
研究指導科目	プロジェクトチーム実習1	2前		3		2	1					1
	プロジェクトチーム実習2	2後		3		2	1					1
	特別研究1	1前		3		7	1					
	特別研究2	1後		3		7	1					
	特別研究3	2前		3		7	1					
	修士論文指導演習	2後		3		7	1					
小計(6科目)	-	0	18	0	7	1	0	0	0	0	1	
合計(36科目)	-	8	70	0	7	1	0	0	0	0	23	

卒業要件及び履修方法

必修科目8単位、選択科目22単位(選択必修科目「プロジェクトチーム実習1」、「プロジェクトチーム実習2」、「特別研究3」及び「修士論文指導演習」を含む。)以上を修得し、合計30単位以上を修得するとともに、研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究成果に係る審査及び最終試験に合格すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・大学内の科目名ルールに従い、科目名に含まれるローマ数字をアラビア数字に変更。
- ・先端的な授業科目を拡充するため、「AIビジネス特論」を2コマ開講し、追加開講分を担当する兼任教員分として「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・先端的な授業科目を拡充するため、「フィンテック特論」を追加。
- ・授業内容と授業名称の対応関係を適切にするため、授業科目の名称を「機械学習演習1」から「機械学習演習」に変更。
- ・授業内容と授業名称の対応関係を適切にするため、授業科目の名称を「機械学習演習2」から「人工知能科学特別演習」に変更。
- ・授業内容の充実を図るため、「人工知能科学特別演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・多様なテーマを扱うため、「輪講1」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・多様なテーマを扱うため、「輪講2」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
- ・授業内容に応じた単位数にするため、「プロジェクトチーム実習1」及び「プロジェクトチーム実習2」の単位数を「2単位」から「3単位」に変更。
- ・多様なテーマを扱うため、「プロジェクトチーム実習1」及び「プロジェクトチーム実習2」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
- ・多様なテーマを扱うため、「特別研究1」及び「特別研究2」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授8」に変更。

【令和3年度】

- 1. 届出時からの変更点**
- ・多様なテーマを扱うため、令和2年度から「情報科学概論」の兼任・兼担教員配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更している。
 - ・社会科学の知見を取り入れるため、令和2年度から「社会情報科学概論」の兼任・兼担教員配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更している。
 - ・多様なテーマを扱うため、「人工知能社会実装」の兼任・兼担教員配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担0」に変更し、ゲストスピーカーを招聘することとした。
 - ・教員の退任により、「認識技術特論」の専任教員等の配置が「教授1」から「教授0」となり、兼任・兼担教員の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更した。
 - ・多様なテーマを扱うため、「脳神経科学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更し、兼任・兼担教員の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担6」に変更した。
 - ・多様なテーマを扱うため、「量子情報特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更し、兼任・兼担教員の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担4」に変更した。
 - ・教員の退任により、令和2年度から「人工知能科学特別演習」の専任教員等の配置が「教授1」から「教授0」となり、兼任・兼担教員の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更した。
 - ・当初、複数名で担当することを予定していた研究テーマを一人でカバーできる教員に授業を委嘱することができたため、「データサイエンス実習」の兼任・兼担教員の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更した。
 - ・教員の退任により、「プロジェクトチーム実習1」「プロジェクトチーム2」の専任教員等の配置が「教授3」から「教授2」「准教授1」となり、兼任・兼担教員の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更した。
 - ・教員の退任により、「特別研究3」「修士論文指導演習」の専任教員等の配置が「教授8」から「教授7」となった。
- 2. 令和2年度からの変更点**
- ・必修の演習科目ということで手厚いサポートを行うべく、「機械学習演習」の兼任・兼担教員配置を令和2年度は「兼任・兼担1」としていたが、令和2年度の学生が十分授業に付いていくことができたので、令和3年度は兼任・兼担教員の配置を行わず（「兼任・兼担0」）、TAによるサポートに切り替えた。
 - ・演習科目ということで手厚いサポートを行うべく、「深層学習演習1」の兼任・兼担教員配置を令和2年度は「兼任・兼担2」としていたが、令和2年度の学生が十分授業に付いていくことができたので、令和3年度は兼任・兼担教員の配置を1名減らし（「兼任・兼担1」）、TAによるサポートに切り替えた。
 - ・取り扱うテーマを統合したことにより、「輪講1」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更した。
 - ・令和2年度から、教員の退任による理由で「特別研究1」「特別研究2」の専任教員等の配置が「教授8」から「教授7」となっているが、令和3年度には退任した教員の専門分野をさらにカバーするため兼任・兼担教員の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更した。

(注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	31 科目	0 科目	35 科目	4 科目 []	32 科目 [1]	科目 []	36 科目 [1]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{35} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	116,505 m ²	0 m ²	0 m ²	116,505 m ²				
	運動場用地	125,853 m ²	0 m ²	0 m ²	125,853 m ²				
	小 計	242,358 m ²	0 m ²	0 m ²	242,358 m ²				
	そ の 他	16,234 m ²	0 m ²	0 m ²	16,234 m ²				
	合 計	258,592 m ²	0 m ²	0 m ²	258,592 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		178,694,176,446 m ² (178,694,176,446 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	178,694,176,446 m ² (178,694,176,446 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		136 室	158 室	5867 室	21 室 (補助職員 人)	12 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		人工知能科学研究科 人工知能科学専攻		33 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能のため、大学全体の数 最新の数値を記入した。(3)	
	人工知能科学研究科 人工知能科学専攻	1,975,553 [770,400] 1,979,485 [780,869] 2,005,817 [780,992]	20,925 [6,945] 21,027 [7,049]	42,796 [42,716] 66,822 [66,707]	63,433 63,590	968	0		
		(1,949,025 [762,434] (1,952,826 [764,755])	(20,925 [6,945] (21,027 [7,049])	(42,796 [42,716] (66,822 [66,707])	(63,433 (62,408)	(968)	(0)		
	計	1,975,553 [770,400] 1,979,485 [780,869] 2,005,817 [780,992]	20,925 [6,945] 21,027 [7,049]	42,796 [42,716] 66,822 [66,707]	63,433 63,590	968	0		
(6) 図 書 館		面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数				
		24,599,24,608m ²		2,029席	2,928,382		大学全体		
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		11,318,6413,399.32m ²		ジム、馬場、射撃場、テニスコート、プール、弓道場等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	最新の予算を反映した。(3)
		教員1人当り研究費等	1,552 1,061千円	1,552 1,061 1,015千円	図書購入費	590,619千円	590,619 663,290千円	590,619 663,290 660,283千円	
	共同研究費等	12,462 13,289千円	12,462 13,289 15,186千円	設備購入費	186,250千円	186,250 121,677千円	186,250 121,677 101,919千円		
	学生1人当り納付金(学内)(学外)	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,500千円	1,500千円	—千円	—千円	—千円	—千円		
		1,725千円	1,500千円	—千円	—千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入、寄付金収入、補助金収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	立教大学					平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号						
文学部	4	900	0	3600	-	0.99	0.99	-	昭和24年度	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号	
キリスト教学科	4	49	0	196	学士 (文学)	0.94	0.95		昭和24年度		
史学科	4	214	0	856	学士 (文学)	0.96	0.97		昭和24年度		
教育学科	4	100	0	400	学士 (文学)	1.10	1.10		昭和37年度		
文学科	4	537	0	2148	学士 (文学) 学士 (学術)	0.97	0.99		平成18年度		
経済学部	4	680	0	2720	-	0.98	0.98	-	昭和24年度	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号	
経済学科	4	330	0	1320	学士 (経済学)	0.97	0.97		昭和24年度		
会計ファイナンス学科	4	175	0	700	学士 (経済学)	0.97	0.90		平成14年度		
経済政策学科	4	175	0	700	学士 (経済学)	0.99	1.07		平成18年度		
理学部	4	292	0	1168	-	0.98	1.05	-	昭和24年度	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号	
数学科	4	66	0	264	学士 (理学)	0.96	1.10		昭和24年度		
物理学科	4	77	0	308	学士 (理学)	1.00	1.01		昭和24年度		
化学科	4	77	0	308	学士 (理学)	1.00	1.09		昭和24年度		
生命理学科	4	72	0	288	学士 (理学)	0.97	1.01		平成14年度		
社会学部	4	510	0	2040	-	0.99	0.99	-	昭和33年度	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号	
社会学科	4	170	0	680	学士 (社会学)	1.00	0.98		昭和33年度		
現代文化学科	4	170	0	680	学士 (社会学)	0.99	0.98		平成14年度		
メディア社会学科	4	170	0	680	学士 (社会学)	0.98	0.99		平成18年度		
法学部	4	585	0	2340	-	0.98	0.99	-	昭和34年度	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号	
法学科	4	360	0	1440	学士 (法学)	0.93	0.91		昭和34年度		
政治学科	4	110	0	440	学士 (政治学)	1.06	1.10		平成8年度		
国際ビジネス法学科	4	115	0	460	学士 (法学)	1.04	1.13		昭和63年度		
観光学部	4	370	0	1480	-	0.98	1.00	-	平成10年度	埼玉県新座市北野一 丁目2番26号	
観光学科	4	195	0	780	学士 (観光学)	0.99	1.04		平成10年度		
交流文化学科	4	175	0	700	学士 (観光学)	0.97	0.94		平成18年度		
コミュニティ福祉学部	4	418	0	1672	-	0.97	0.97	-	平成10年度	埼玉県新座市北野一 丁目2番26号	
福祉学科	4	154	0	616	学士 (コミュニティ福祉学)	0.98	0.99		平成18年度		
コミュニティ政策学科	4	154	0	616	学士 (コミュニティ福祉学)	0.96	0.94		平成18年度		
スポーツ福祉法学科	4	110	0	440	学士 (スポーツ福祉学)	0.97	0.98		平成20年度		
経営学部	4	385	0	1540	-	0.97	0.98	-	平成18年度	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号	
経営学科	4	230	0	920	学士 (経営学)	1.00	1.03		平成18年度		
国際経営学科	4	155	0	620	学士 (経営学)	0.93	0.91		平成18年度		

現代心理学部	4	319	0	1276	-	0.98	0.98	-	平成18年度	
心理学科	4	143	0	572	学士 (心理学)	0.98	0.93		平成18年度	埼玉県新座市北野一丁目2番26号
映像身体学科	4	176	0	704	学士 (映像身体学)	0.98	1.02		平成18年度	同上
異文化コミュニケーション学部	4	145	0	580	-	1.01	0.98	-	平成20年度	
異文化コミュニケーション学科	4	145	0	580	学士 (異文化コミュニケーション学)	1.01	0.98		平成20年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
大学全体	-	4604	0	18416	-	-	-	-	-	-
文学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和26年度	-
前期課程 (計)	2	94	0	188	-	0.33	0.31		-	-
後期課程 (計)	3	34	0	102	-	0.37	0.38		-	-
英米文学専攻 (M)	2	18	0	36	修士 (文学)	0.19	0.22		昭和26年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
英米文学専攻 (D)	3	3	0	9	博士 (文学)	0.66	0.33		昭和28年度	同上
史学専攻 (M)	2	15	0	30	修士 (文学)	0.50	0.40		昭和33年度	同上
史学専攻 (D)	3	6	0	18	博士 (文学)	0.49	0.50		昭和51年度	同上
教育学専攻 (M)	2	10	0	20	修士 (教育学)	0.55	0.60		昭和44年度	同上
教育学専攻 (D)	3	3	0	9	博士 (教育学)	0.66	0.33		昭和47年度	同上
日本文学専攻 (M)	2	20	0	40	修士 (文学)	0.37	0.35		昭和35年度	同上
日本文学専攻 (D)	3	8	0	24	博士 (文学)	0.29	0.37		昭和37年度	同上
フランス文学専攻 (M)	2	8	0	16	修士 (文学)	0.25	0.25		昭和40年度	同上
フランス文学専攻 (D)	3	3	0	9	博士 (文学)	0.22	0.66		昭和42年度	同上
ドイツ文学専攻 (M)	2	8	0	16	修士 (文学)	0.31	0.25		昭和42年度	同上
ドイツ文学専攻 (D)	3	3	0	9	博士 (文学)	0.11	0.00		昭和44年度	同上
比較文明学専攻 (M)	2	10	0	20	修士 (比較文明学)	0.25	0.30		平成10年度	同上
比較文明学専攻 (D)	3	5	0	15	博士 (比較文明学)	0.33	0.40		平成12年度	同上
超域文化学専攻 (M)	2	5	0	10	修士 (文学)	0.10	0.00		昭和42年度	同上
超域文化学専攻 (D)	3	3	0	9	博士 (文学)	0.22	0.33		昭和44年度	同上
経済学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和26年度	-
経済学専攻 (M)	2	40	0	80	修士 (経済学)	0.67	0.67		昭和26年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
経済学専攻 (D)	3	10	0	30	博士 (経済学) 博士 (会計学)	0.16	0.10		昭和38年度	同上
理学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和28年度	-
前期課程 (計)	2	60	0	120	-	0.56	0.30		-	-
後期課程 (計)	3	15	0	45	-	0.28	0.20		-	-
物理学専攻 (M)	2	20	0	40	修士 (理学)	0.92	0.90		昭和28年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
物理学専攻 (D)	3	4	0	12	博士 (理学)	0.58	0.25		昭和30年度	同上
化学専攻 (M)	2	20	0	40	修士 (理学)	0.92	1.00		昭和29年度	同上
化学専攻 (D)	3	4	0	12	博士 (理学)	0.16	0.00		昭和37年度	同上
数学専攻 (M)	2	5	0	10	修士 (理学)	0.50	0.60		昭和30年度	同上
数学専攻 (D)	3	3	0	9	博士 (理学)	0.11	0.33		昭和37年度	同上
生命理学専攻 (M)	2	15	0	30	修士 (理学)	0.90	1.00		平成8年度	同上
生命理学専攻 (D)	3	4	0	12	博士 (理学)	0.25	0.25		平成10年度	同上
社会学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和35年度	-
社会学専攻 (M)	2	20	0	40	修士 (社会学)	0.97	0.90		平成2年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
社会学専攻 (D)	3	10	0	30	博士 (社会学)	0.33	0.40		平成9年度	同上
法学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和36年度	-
法学政治学専攻 (M)	2	20	0	40	修士 (法学)	0.35	0.30		平成18年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号

法学政治学専攻 (D)	3	10	0	30	修士 (政治学) 博士 (法学) 博士 (政治学)	0.06	0.10		平成18年度	同上
観光学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成10年度	-
観光学専攻 (M)	2	20	0	40	修士 (観光学)	0.60	0.65		平成10年度	埼玉県新座市北野一丁目2番26号
観光学専攻 (D)	3	8	0	24	博士 (観光学)	0.16	0.12		平成10年度	同上
コミュニティ福祉学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成14年度	-
コミュニティ福祉学専攻 (M)	2	25	0	50	修士 (コミュニティ福祉学)	0.38	0.40		平成18年度	埼玉県新座市北野一丁目2番26号
コミュニティ福祉学専攻 (D)	3	5	0	15	修士 (コミュニティ福祉学) 博士 (コミュニティ福祉学)	0.46	0.00		平成16年度	同上
ビジネスデザイン研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成14年度	-
ビジネスデザイン専攻 (M)	2	90	0	180	修士 (経営管理学)	1.03	0.96		平成14年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
ビジネスデザイン専攻 (D)	3	5	0	15	博士 (経営管理学)	0.60	0.20		平成19年度	同上
21世紀社会デザイン研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成14年度	-
比較組織ネットワーク学専攻 (M)	2	50	0	100	修士 (社会デザイン学)	0.83	1.02		平成14年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
比較組織ネットワーク学専攻 (D)	3	5	0	15	博士 (社会デザイン学)	0.13	0.00		平成19年度	同上
異文化コミュニケーション研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成14年度	-
異文化コミュニケーション専攻 (M)	2	20	0	40	修士 (異文化コミュニケーション学)	0.60	0.65		平成14年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
異文化コミュニケーション専攻 (D)	3	5	0	15	博士 (異文化コミュニケーション学)	0.33	0.20		平成16年度	同上
経営学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成18年度	-
前期課程 (計)	2	60	0	120	-	0.69	0.46		-	-
後期課程 (計)	3	5	0	15	-	0.40	0.40		-	-
経営学専攻 (M)	2	10	0	20	修士 (経営学)	2.05	2.20		平成18年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
経営学専攻 (D)	3	5	0	15	博士 (経営学)	0.40	0.40		平成18年度	同上
国際経営学専攻 (M)	2	50	0	100	修士 (国際経営学)	0.43	0.12		平成23年度	同上
現代心理学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成18年度	-
前期課程 (計)	2	40	0	80	-	0.49	0.47		-	-
後期課程 (計)	3	11	0	33	-	0.15	0.18		-	-
心理学専攻 (M)	2	10	0	20	修士 (心理学)	0.15	0.20		平成18年度	埼玉県新座市北野一丁目2番26号
心理学専攻 (D)	3	3	0	9	博士 (心理学)	0.33	0.00		平成18年度	同上
臨床心理学専攻 (M)	2	15	0	30	修士 (臨床心理学)	0.93	0.86		平成18年度	同上
臨床心理学専攻 (D)	3	4	0	12	博士 (臨床心理学)	0.16	0.50		平成18年度	同上
映像身体学専攻 (M)	2	15	0	30	修士 (映像身体学)	0.29	0.26		平成20年度	同上
映像身体学専攻 (D)	3	4	0	12	博士 (映像身体学)	0.00	0.00		平成22年度	同上
判事教学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成21年度	-
判事教学専攻 (M)	2	10	0	20	修士 (神学) 修士 (文学)	0.70	0.70		平成21年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
判事教学専攻 (D)	3	5	0	15	修士 (実践神学) 博士 (神学) 博士 (文学)	0.20	0.40		平成21年度	同上
人工知能科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	令和2年度	-
人工知能科学専攻	2	63	0	126	修士 (人工知能科学)	1.05	0.92		令和2年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号

大学院全体											
前期課程	-	612	0	1224	-	-	-	-	-	-	-
後期課程	-	128	0	384	-	-	-	-	-	-	-
法務研究科											
法務専攻 (P)	-	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	-	-	平成16年度	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号	平成30年 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人工知能科学研究科 人工知能科学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	内山 泰伸 (45) <令和2年4月> 博士(理学)
		データサイエンス概論 人工知能社会実装 輪講Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 修士論文指導演習
専	教授	大西 立顕 (43) <令和2年4月> 博士(科学)
		複雑ネットワーク科学 情報科学概論 社会情報科学概論 輪講Ⅱ データサイエンス実習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 修士論文指導演習
専	教授	村上(石井) 祐子 (51) <令和2年4月> 修士(理学) Ph. D. (Philosophy) (米国)
		先端科学技術の倫理 人工知能の哲学 輪講Ⅰ プロジェクトチーム実習Ⅰ プロジェクトチーム実習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 修士論文指導演習

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	内山 泰伸 (45) <令和2年4月> 博士(理学)
		データサイエンス概論 人工知能社会実装 量子情報特論 輪講2 プロジェクトチーム実習1 プロジェクトチーム実習2 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習
専	教授	大西 立顕 (43) <令和2年4月> 博士(科学)
		複雑ネットワーク科学 情報科学概論 社会情報科学概論 輪講2 データサイエンス実習 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習
専	教授	村上(石井) 祐子 (51) <令和2年4月> 修士(理学) Ph. D. (Philosophy) (米国)
		先端科学技術の倫理 人工知能の哲学 輪講1 輪講2 プロジェクトチーム実習1 プロジェクトチーム実習2 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	内山 泰伸 (46) <令和2年4月> 博士(理学)
		データサイエンス概論 人工知能社会実装 量子情報特論 輪講2 プロジェクトチーム実習1 プロジェクトチーム実習2 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習
専	教授	大西 立顕 (44) <令和2年4月> 博士(科学)
		複雑ネットワーク科学 情報科学概論 社会情報科学概論 輪講2 データサイエンス実習 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習
専	教授	村上(石井) 祐子 (52) <令和2年4月> 修士(理学) Ph. D. (Philosophy) (米国)
		先端科学技術の倫理 人工知能の哲学 輪講1 輪講2 プロジェクトチーム実習1 プロジェクトチーム実習2 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新田 徹 (59) <令和2年4月> 博士(工学)
		機械学習演習Ⅰ 深層学習演習Ⅰ 輪講Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 修士論文指導演習
専	教授	正田 備也 (49) <令和2年4月> 博士(情報理工学)
		統計モデリングⅠ 統計モデリングⅡ 自然言語処理特論 機械学習演習Ⅰ 輪講Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 修士論文指導演習
専	教授	三宅 陽一郎 (44) <令和2年4月> 修士(理学)
		人工知能概論 プロジェクトチーム実習Ⅰ プロジェクトチーム実習Ⅱ 特別研究Ⅲ 修士論文指導演習
専	教授	松下 伸行 (47) <令和2年4月> 博士(工学)
		認識技術特論 プロジェクトチーム実習Ⅰ プロジェクトチーム実習Ⅱ 特別研究Ⅲ 修士論文指導演習
専	教授	吉川 厚 (56) <令和2年4月> 博士(工学)
		意思決定の科学 AIビジネス特論 社会モデリング演習 特別研究Ⅲ 修士論文指導演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新田 徹 (59) <令和2年4月> 博士(工学)
		機械学習演習 深層学習演習1 輪講1 輪講2 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習
専	教授	正田 備也 (49) <令和2年4月> 博士(情報理工学)
		統計モデリング1 統計モデリング2 自然言語処理特論 機械学習演習 輪講1 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習
専	教授	三宅 陽一郎 (44) <令和2年4月> 博士(工学)
		人工知能概論 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習
専	教授	吉川 厚 (56) <令和2年4月> 博士(工学)
		意思決定の科学 AIビジネス特論 社会モデリング演習 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新田 徹 (60) <令和2年4月> 博士(工学)
		機械学習演習 深層学習演習1 輪講2 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習
専	教授	正田 備也 (50) <令和2年4月> 博士(情報理工学)
		統計モデリング1 統計モデリング2 自然言語処理特論 機械学習演習 輪講1 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習
専	教授	三宅 陽一郎 (45) <令和2年4月> 博士(工学)
		人工知能概論 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習
専	教授	吉川 厚 (57) <令和2年4月> 博士(工学)
		意思決定の科学 AIビジネス特論 社会モデリング演習 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	瀧 雅人 (38) <令和2年4月> 博士(理学)
		機械学習 深層学習 深層学習演習Ⅱ 輪講Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 修士論文指導演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	瀧 雅人 (38) <令和2年4月> 博士(理学)
		機械学習 深層学習 脳神経科学特論 深層学習演習2 輪講1 プロジェクトチーム実習1 プロジェクトチーム実習2 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習
兼任	教授	佐々木 宏 (61) <令和2年4月> 博士(経済学)
		AIビジネス特論
兼任	教授	和田 伸一郎 (50) <令和2年4月> 博士(人間・環境学)
		社会情報科学概論
兼任	講師	アントラーテ シルバ ダニエル ケオルグ (39) <令和2年4月> 博士(情報理工学・ 統計科学)
		情報科学概論 人工知能科学特別演習
兼任	講師	石川 真之介 (37) <令和2年4月> 博士(理学)
		数理科学概論 深層学習演習1
兼任	講師	村上 隆夫 (38) <令和2年9月> 博士(情報理工学)
		人工知能科学特別演習
兼任	講師	北澤 正樹 (34) <令和2年9月> 博士(工学)
		認識技術特論 輪講2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	瀧 雅人 (39) <令和2年4月> 博士(理学)
		機械学習 深層学習 脳神経科学特論 深層学習演習2 輪講1 プロジェクトチーム実習1 プロジェクトチーム実習2 特別研究1 特別研究2 特別研究3 修士論文指導演習
兼任	教授	佐々木 宏 (62) <令和2年4月> 博士(経済学)
		AIビジネス特論
兼任	教授	和田 伸一郎 (51) <令和2年4月> 博士(人間・環境学)
		社会情報科学概論
兼任	講師	アントラーテ シルバ ダニエル ケオルグ (40) <令和2年4月> 博士(情報理工学・ 統計科学)
		情報科学概論 人工知能科学特別演習
兼任	講師	石川 真之介 (38) <令和2年4月> 博士(理学)
		数理科学概論 深層学習演習1
兼任	講師	村上 隆夫 (39) <令和2年9月> 博士(情報理工学)
		人工知能科学特別演習
兼任	講師	北澤 正樹 (35) <令和2年9月> 博士(工学)
		認識技術特論 特別研究1 特別研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	近添 淳一 (45) <令和3年4月> 博士(医学)
		脳神経科学特論
兼任	講師	渡邊 正峰 (49) <令和3年4月> 博士(工学)
		脳神経科学特論
兼任	講師	松井 鉄平 (40) <令和3年4月> 博士(理学)
		脳神経科学特論
兼任	講師	カグリヤン ドミトリ (42) <令和3年4月> PhD on Theoretical Physics
		量子情報特論
兼任	講師	大関 真之 (38) <令和3年4月> 博士(理学)
		量子情報特論
兼任	講師	宇都宮 聖子 (40) <令和3年4月> 博士(情報理工学)
		量子情報特論
兼任	講師	針原 佳貴 (32) <令和3年4月> 博士(情報理工学)
		量子情報特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	近添 淳一 (46) <令和3年4月> 博士(医学)
		脳神経科学特論
兼任	講師	渡邊 正峰 (50) <令和3年4月> 博士(工学)
		脳神経科学特論
兼任	講師	松井 鉄平 (41) <令和3年4月> 博士(理学)
		脳神経科学特論
兼任	講師	カグリヤン ドミトリ (43) <令和3年4月> PhD on Theoretical Physics
		量子情報特論
兼任	講師	大関 真之 (39) <令和3年4月> 博士(理学)
		量子情報特論
兼任	講師	宇都宮 聖子 (41) <令和3年4月> 博士(情報理工学)
		量子情報特論
兼任	講師	針原 佳貴 (33) <令和3年4月> 博士(情報理工学)
		量子情報特論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

令和2年7月17日付にて松下 伸行教授が一身上の都合により辞任。同教授の担当授業は他の専任教員及び客員教員が担当した。

【令和3年度】

特になし。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	1	0	0	9	0	7	1	0	1	9	0
(8)	(1)	(0)	(0)	(9)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
9	0	0				8	0	0			
(9)	(0)	(0)				(8)	(0)	(0)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
7	1	0	1	9	0	7	1	0	1	9	0
[△1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
8	0	0				8	0	0			
[△1]	[0]	[0]				[△1]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由					
							該当なし					
	就任を辞						合計数 (c)					
	0						0	科目				
							0	科目				
							0	科目				
							計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	松下 伸行	R2.7	選択	人工知能科学特別演習	②	令和2年7月17日付で一身上の都合により辞任（3）			
				選択	認識技術特論	②				
				選択	プロジェクトチーム実習1	①				
				選択	プロジェクトチーム実習2	①				
				選択	特別研究1	①				
				選択	特別研究2	①				
				選択	特別研究3	①				
				選択	修士論文指導演習	①				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	6	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	6	科目	計	2	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (平成31年)	該当なし	履行中	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人工知能科学研究科 人工知能科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>○施設・設備</p> <p><11号館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の研究室：180㎡ ・学生の共同研究室：40㎡ ・面談スペース：20㎡ <p>・実験スペース：40㎡</p>	<p>【以下令和2年度の状況】</p> <p>○施設・設備</p> <p>教員と学生との意思疎通に資するため、学生占有の面積を減じる代わりに教員と共同で利用できる研究スペースを確保したほか、実験スペースを拡大させた。</p> <p><11号館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の研究室：43.63㎡ ・学生の共同研究室：20.96㎡ ・教員と学生の共同研究スペース：325.78㎡ <p><16号館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験スペース99.29㎡

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

令和2年4月1日付で、人工知能科学研究科FD委員会を設置した。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度はFD委員会を12回開催した。令和3年度は隔月で開催予定である。

令和2年度は本来のFD委員会の構成員ではない客員教員・兼任講師も参加した。

令和3年度も引き続き客員教員・兼任講師にも参加を促すこととする。

c 委員会の審議事項等

学生の授業評価アンケート調査、研究科教員からの発議、提案事項のほか、FD活動全般

② 実施状況

a 実施内容

- ・教員間コミュニケーションツール「Slack」を通じた、授業に関する意見交換を行った。
- ・FD委員会では、授業や学生サポートについて意見交換・事例紹介等を行った。
- ・教員相互の授業視察（含・授業サポート）を行った。

b 実施方法

- ・令和2年度はコロナ禍のため全ての回でZoomを用いて行った。
- ・令和3年度はZoomを活用しつつも対面での会議も行う予定である。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・Slackを用いた情報交換は随時行っている。
- ・令和2年度はFD委員会を12回開催した。開設初年度ということもあり頻繁に開催するとともに、本来のFD委員会の構成員ではない客員教員・兼任講師も参加し、指導方法の改善について情報交換や基準のすり合わせを行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・令和2年度はオンライン授業が中心となったため、各教員の授業運営方法を相互に紹介することによりグッドプラクティスの共有と水平展開を行うことができた。
- ・春学期終了時に、教職員と全学生が一堂に集まり、研究科の方針や運営について意見交換をする場を設けた。
- ・授業以外でも学生が最先端の知見に触れる機会や各教員の専門分野を横断するテーマを学ぶ機会を創出したいと考え、連続セミナーの仕組みとして「人工知能科学研究科コロキウム」と「知の共有セミナー」を設けた。令和2年度はそれぞれ2回ずつ開催した。
- ・学生のモチベーションアップとともに、コロナ禍により学生間交流が制限されている中で他の学生の研究内容・関心事項についてコミュニケーションの機会を創出するため、各授業で課したレポートで優秀なものを表彰する「レポート大賞」を新設した。表彰されたレポートへの教員からのフィードバックや、優秀なレポートについては、Slackの「レポート大賞」チャンネルで学生が閲覧できる形をとった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和2年度春学期修了時点及び秋学期修了時点に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

専任の教員のみならず、非常勤の教員（客員教員・兼任講師）とも共有し、各授業が有機的につながるように見直し・改善を行った。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本研究科は、自然科学・人文社会科学分野で、人工知能及び先端的なデータ解析技術を駆使することで新しい知を創出することを目指すものであり、人工知能及び先端的なデータ解析技術により、これまでの技術ではなし得なかった新しい方法で、誰もが快適で活力に満ちた社会の実現に積極的に貢献するため、令和2年4月に開設したところである。また、令和4年4月には博士課程への課程変更を行い後期課程の開設を行うべく、令和3年4月に届出を行った。研究科の目的を達成するため、以下の取り組みを行った。

【入学者確保】

入学者の確保については令和3年度入学者についても、入学定員63名のところその約1.8倍の113名の志願者が集まった。前年度の入学者数が入学定員を12名超過していたため、令和3年度実施の一般区分・社会人区分の入試では前年度に比べて合格者数を絞り込みを行った。結果、入学者数は58名となり2学年の合計で収容定員に近い数字に収めることができている。

【カリキュラム】

また、就任予定の専任教員のうち1名が令和2年7月に辞任しているものの、当該教員が担当すべき授業及び研究指導は専任教員及び客員教員によりカバーされている。AI分野の急速な社会への広まりを反映して届出時の計画から追加した「フィンテック特論」についても令和3年度に多くの履修者を迎え順調にスタートした。

【研究活動】

本研究科は修了要件として修士論文の他にプロジェクト活動の報告書の執筆も可としているが、令和2年度の入学者は約7割の学生が修士論文の執筆に取り組んでいる。令和3年2月には研究活動の中間報告会を開催し学生が発表を行われ、学術色の強いテーマから社会実装を指向したテーマまで非常に多岐にわたる取り組みが発表された。既に成果の出始めている学生もおり、修士論文の完成に向けて期待が持てる状況である。

【産学連携】

人工知能やデータサイエンスの技術を社会の様々な課題に応用し、人工知能の社会実装を推進するための知識・技術を獲得するため、積極的に産学連携を推進している。令和2年度には株式会社ビズリーチとの共同研究の協定書を締結し、株式会社西武ライオンズとのスポーツテックプロジェクトやアクセルロボティクスジャパン合同会社との無人店舗プロジェクトを実施した。また、令和3年度は上記プロジェクトに加え、NTT東日本とバーチャルキャンパスプロジェクトや介護AIプロジェクトをスタートしている。

加えて、大学全体の自己点検・評価活動の一環として、令和2年度には、「教育課程・学修成果」及び「学生の受け入れ」について自己点検・評価を行い、自己点検・評価報告書を作成した。これらを踏まえると、開設後1年という時点では、設置の趣旨・目的の達成に向けて順調に教育研究活動を行うことができていると評価できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和7年4月公表予定（認証評価受審後）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和6年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）による大学評価（認証評価）を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。